



三月三日は「ひな祭り」です。女の子の健やかな成長を願い、ひな人形を飾ってお祝いする日本の春の行事です。

「ひな祭り」は今では女の子の為の行事ですが、古来は男女の別なく穢れを払う季節の行事でした。

古代中国では季節の変わり目は災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられていた為、身の穢れを払い、健康長寿や厄除けを願う風習が日本へと伝わり、平安時代には宮中行事となり、戦国時代を経て、江戸時代に徳川幕府によって「五節句」として定められ、重要な年中行事となりました。元は男女ともに祝われていた行事ですが、五月五日の端午の節句が男の子の節句として祝われるようになり、それに対して、女の子の節句として定着したそうです。



季節の変わり目のこの時期は、疲れがたまりやすくなったり、風邪や病気になりやすいという人も多いようです。子どもだけではなく大人の私たちも、邪気を祓って元気に過ごして行きましょう。

## 新入社員紹介



このたび入社いたしました吉松一彦です。

益田市出身、5月20日生まれの28歳です。

営業という仕事は未経験ですが、日々勉強を怠ることなく一日一日を大切に誠心誠意仕事に励もうと思っております。

一日も早く先輩社員 みなさんに肩を並べることが出来るよう努力していきたいと思っております。

入社してすぐにもらった致知の中にあつた「困難こそが自分を成長させるチャンス」の言葉の通り、何事もプラス思考で成長できるよう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

# よろしくお願しいたします！

私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

**Typic 株式会社 タイピック**

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 (代) Fax. (0856) 22-5592 番  
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

# 今月の社長のつぶやき

今回は、私が結婚式など新郎新婦に贈る言葉であり、自分でもこの言葉を実践しようとしている言葉を皆様にご紹介したいと思います。

「<sup>しんたいはっぶ</sup>身体髪膚、<sup>これ</sup>之を父母に受く、<sup>あ</sup>敢えて<sup>きしょう</sup>毀傷せざるは、<sup>こう</sup>孝の始めなり。

身を立て道を行い、名を後世に揚げ、<sup>もつ</sup>以て父母を<sup>あらわ</sup>顕すは、孝の終りなり。」

これは中国古典の「孝経」開宗明義章第一に書かれている言葉で、「身体髪膚」の身体とは、頭、胴、足をいいます。髪膚というのは髪と皮膚ですから、体全体ということです。

親からもらった大事な体は授かりものであり、考えようによっては預かりものである。だからそれを傷つけない。これが孝行の始めだといっている。

世の中に出て、いろいろと実践<sup>きゅうこう</sup>躬行(自分で実際に行うこと)して名を後世に揚げた。立派な人格を築き上げ、完成し、亡くなった後もその名が人の評判に上がる。また自分だけではなく、そのうえに父や母の名も揚げる。これが孝の終わりだというものだ、といっています。

庶人章第六には「<sup>ゆえ</sup>故に<sup>てんし</sup>天子<sup>しよじん</sup>自り庶人に至まで、<sup>こうしゅうしな</sup>孝終始無くして、及ばざるを<sup>うれ</sup>憂うる者は、<sup>いまだこれあ</sup>未之有らざるなり」

天子から一般の人に至るまで、親に尽くすということについては変わりはない。孝行はこれでいいという終始はない。しかし、そのように孝行を尽くして、十分にできないことを心配する者は非常に少ない。「足らん、足らん、これだけやってもなお足らん」と思っているのが実は孝行なのです。(参考図書 致知出版社発行 伊與田覺著 「孝経」)



代表取締役社長 岡崎純二



## ピックアップ社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

### 「成功の要諦」 F・D

「本来人」の書というものがある。これは人らしい人になれという意味だそうです。人は誰でもその人だけの真実を天から授かって生まれてくる、文中に書かれているこの言葉を藤尾社長の講演で聞いた事を思い出しました。

人間としての成功は、天真を発揮し、「人」となることだとありますが、今の自分にはとても難しく感じました。しかし、この先も勉強をして行く中で、少しずつでもその意味を理解し、自分の意識を変えていければと思いました。

そして、JALを再建し再上場へと導いた稲盛和夫氏の話に大変興味を持ちました。その中に人間は意識が大事だということ。不平不満を持たず、感謝を持ち続ける事で運命が好転するという事。もう一つは、多くの人達との縁、巡り合いの中で人格を形成して行くと言う事。自分を省みると、なかなか実践が出来ていない自分に気づかされました。これからは、自分自身の更なる成長を目指し、意識する事を続けていければと思いました。





# 兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『ツキを維持するには』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

今回で9回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。



船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。今回は、「ツクためには」という考え方をご紹介しました。ツキや運というのは、サイコロを振るようなランダムなものではなく、自分自身の行動と習慣によって生まれます。

さて今回は、「ツキを維持するには」ということをお伝えしたいと思います。一時的にうまくいって傲慢になり、ツキを落としてしまう人もいますので、ツイているときほど注意が必要なのです。ツキが維持できれば、継続的な業績アップや成長が期待できるのです。当社の創業者の船井幸雄は、一時的にツクだけでなく、ツキを維持するためには以下のような習慣を身につけることが大切だと言っています。

- ①ツキがある時ほど、組織や自分の周りの弱い部分（家族やうまくいっていない人など）に気を遣う。
- ②ツイている時ほど、謙虚さを身につける。
- ③ツキを自分の周りの人に分け与える。

光があるということは影も生まれるものです。うまくいっているときは天狗にならず、傲慢になってしまう自分に注意して謙虚に過ごし、周りの人に与える、施すという意識で行動していくことが大切ですね。お互い、常に意識してツキを維持して味方につけた生き方を心がけていきたいものですね。

## SAからのお勧め情報



タイプック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。

今月は、OA事業部の草野がお届けします。

外回りをしていると春の息吹を感じられるようになってきたなと感じます。

きれいに梅が咲いてますねえ～。毎年梅を見るたびに…

「～梅は咲いたか 桜はまだかいな♪～」なんて口ずさんでいました。

そこの箇所しか覚えていなかったのですが、なにか幼い頃に聞いたんでしょか??

この度気になったので、改めて調べてみました。

♪梅は咲いたか 桜はまだかいな  
柳やなよなよ 風しだい  
山吹や浮気で色ばっかりしょんがいな♪



という唄だったようで出だしだけなんとなく覚えていました。梅が香を桜の花に匂わせて柳の枝に咲かせたい、という意味で、「それぞれのものの最良のところだけをひとところに集めてみたい。」ということらしいです。

みんなの良いところを一つに集めて素晴らしい集団の会社に築き上げ、お客様に喜んでいただける営業をして行きたいと思います。

# ゆっくりやさしいパソコン教室

## ■そば打ち体験

浜田教室で「そば打ち体験」が好評でしたので、益田教室でも企画してみました。

「パソコン教室でそば打ち？」と思われるかもしれませんが、私たちの教室は、楽しいこと、おもしろそうなことは、何でもやります。生徒の皆さんといろいろな楽しいことを体験していくのも当パソコン教室のモットーです。

そば打ち体験させていただいた場所は、旧日原町の「杣の里よこみち」です。島根県最高峰の安蔵寺山のふもと、横道川の清らかな流れ、丁寧に手入れされた畑が広がる、懐かしい里山風景の中に、石州瓦の赤い屋根の宿泊体験施設です。

津和野町の廃校になった横道小学校校舎を再開発した杣の里は、施設のあちらこちらに在りし日の学校のたたずまいと、地域の方の学校への愛を残した、温かな雰囲気がいっぱいでした。

そば通があえて選ぶという「二八そば」を、みなさんと協力しながら打ちました。多少そばの太さはふぞろいでも、自分たちで打ったそばの味は格別です。新鮮な地元産のわさびを添えて、そばの香りを楽しみながら、みなさんと美味しく頂きました。のどかな時間を生徒のみなさんと共有できた楽しいひとときでした。

ゆっくりやさしいパソコン教室は、皆さんと共に作っていくパソコン教室です。皆さまのご入会、スタッフ一同お待ちしております。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします